



RPA導入実証の結果等について

令和2年4月24日
総合政策部 情報政策課

ロボットが自動入力！定型業務はRPAにおまかせ！ ～事務処理時間の削減による市民サービスの向上へ～

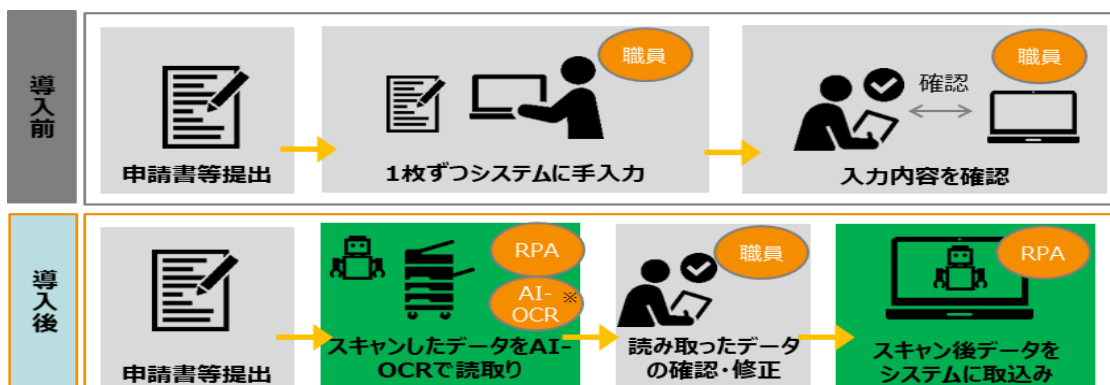
宇都宮市では、ICTの積極的な活用による市民の身近な暮らしの利便性向上を目指しており、パソコン入力などの定型業務を自動処理する技術であるRPA(Robotic Process Automation)について、令和2年1月から3つの業務に導入実証を実施した結果、職員の作業時間の削減が確認できました。

この結果を踏まえ、他の業務へのRPAの導入拡充を図り、さらなる市民サービスの向上に繋げていきます。

1 導入実証の目的

市民サービス向上に向けたRPA導入に当たっての課題の把握や、効果の測定のために行うもの。

2 RPAの導入イメージ



※AI-OCR…人工知能(AI)を組み合わせることで手書き文字をデータに変換するソフトウェアで、今回のRPA導入実証に不可欠な技術である。

ベテラン職員よりも
さらに速い！

3 実証結果

| | 「妊産婦健康診査結果」の入力業務 (子ども家庭課) | 「障がい児通所給付」の入力業務 (子ども発達センター) | 「建築物及び防火設備の定期報告書」の入力業務 (建築指導課) | |
|------------|------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|--------|
| | | | 建築物 | 防火設備 |
| 年間作業時間(A) | 542.5時間 | 297.7時間 | 46.2時間 | 57.6時間 |
| 年間削減時間※(B) | 244.6時間 | 189.6時間 | 10.6時間 | 26.6時間 |
| 削減割合(B/A) | 45.1% | 63.7% | 22.9% | 46.2% |

※年間の推計値